



SUPPORTING
CHINA
BUSINESS

LT Commerce Consultants (Shanghai) Co., Ltd.

2011年1月24日

「LT会」会報第11-01号(総78号)

上海良図商務諮詢有限公司

最低賃金引上げよりインフレ緩和と減税を

先ごろ、全国各地の两会(全人代と政治協商会議)において、最低賃金をめぐる議論が白熱した。これに先立ち、一部の地方でも最低賃金基準の引き上げが発表された。(添付表参照)

実際、最低賃金基準が果たす役割は、市場で人手不足が起こっている今、非常に大きい。最低賃金基準の引き上げによって、労働者により多くの収入をもたらすことが、政府による収入分配の調整になったとしても、インフレによる生活コストの大幅な上昇と安価な労働力による強みが消えつつある中での人手不足と、去年市場に吹き荒れた賃金アップの風は、今後も引き続き起こると思われる。

北京市政協会議の李少華委員は两会の席上、『北京市の最低賃金基準引き上げの継続に反対する』という意見を表明した。その理由は、北京の最低賃金の最新基準は1160元だが、更なる最低賃金の調整は労働集約型企業にとって非常な経営プレッシャーをもたらすというものだ。その一方、北京の生活コストが過去数年で大幅に上昇し、低所得者層に生存危機感を与えており、もし基本的な生活費を確保するだけの賃金が得られなければ、北京では人を雇うことは不可能である。実際北京の最低賃金基準では、物価が高騰し続けている都市の基本的生存に必要な基準に遠く及ばないのである。

同様に、広東省では最近最低賃金基準を引き上げたのは、今の企業の雇用安定のためで、輸出型製造業が発達している珠三角地域での人手不足が深刻なためである。このような経済安定のための努力は賞賛に値するが、中国全体が物価上昇にあるインフレ局面では、企業は賃金をアップしてでも人手を確保しなければならず、最後には最低賃金基準を上げざるを得なくなるのだ。

昨年一年間で、中国の多くの地方で少なくとも連続2回の最低賃金基準引き上げが実施された。だがインフレと労働力不足により、中国市場における賃金調整の幅は更に高くなる。HR サービス大手の51JOB社が先ごろ発表した報告によると、2010年87.3%の企業が賃金調整を実施し、2011年には89%の企業が従業員全体を対象とした賃金アップを行うとしている。つまり、最低賃金基準の引き上げが必ずしも市場賃金アップの引き金となっている訳ではないということだ。もしも政府が本気で労働者の実質収入を引き上げ、同時に企業のコストプレッシャーを軽減しようとするなら、何よりもまずインフレを抑え、減税をすることである。

企業の雇用安定は最低賃金の引き下げだけで解決するものではない。実際政府は労働力の流動性の問題を重視している。出稼ぎ労働者たちは賃金のせいだけでなく、毎年就職先を変えることが多いが、その主な原因には、彼らが働く都市には彼らの定住場所と家庭がないからである。そのため、彼らの就労は常に短期で流動性の高いものとならざるを得ない。

都市と農村の二元構造は依然存在し、農民工は都市では社会保障や福利待遇を受けられず、これが彼らの流動性を高める原因である。もし彼らを定住させ、都市の住民とするなら、就労も安定し、労働時間も増え、ある程度は労働力不足を緩和することが可能であろう。このような二元構造がもたらす就業の短期化は、労働力不足の時代にあっては労働力供給の不安定性を増し、且つ労働者の技能レベルの上昇にも不利である。



SUPPORTING
CHINA
BUSINESS

LT Commerce Consultants (Shanghai) Co., Ltd.

中国社会科学院人口研究所の蔡昉研究員によると、2000年以來、中国の労働年齢人口の増加率は既に減速し始めている。現在でも毎年平均1%強の増加率で、2015年にはマイナスに転じると予測され、中国の労働力不足は暫定的な減少とはいえない。経済発展に伴い、先ず収入が急増し、一定のレベルに達するとターニングポイントを迎えるといわれているが、現在の賃金アップの波はそのターニングポイントではない。何故なら、インフレを解決しなければ、収入分配は膠着状態が続くからである。

(参考資料:「21世紀経済報道」2011年1月21日付)

2011年度調整済み中国主要都市最低賃金一覧表

2011年1月24日現在 (単位:人民元)

省・直轄市	市/県	最低賃金	調整前	引上げ率
上海市	全域(2011年4月1日より)	?	1120	10%以上*
広東省	広州市(2011年3月1日より)	1,300	1,100	18.18%
北京市	全域(2011年1月1日より)	1,160	960	20.8%
江蘇省	南京市、無錫市、蘇州市 常州市(2011年2月1日より)	1,140	960	18.75%
重慶市	重慶中心地区(2011年1月1日より)	870	680	27.94%

*最近行った上海市両会の記者会見で、上海市の韓正市長は既に上海市の最低賃金調整は10%以上だと発表した。